

2016年10月26日

**ヤマハ「おもてなしガイド」と NICT「VoiceTra」  
 新たなインバウンドソリューションの構築に向けた連携について  
 - 「アナウンス」も「旅行会話」もその場で翻訳。2つのアプリが本日より実験的連携 -**

ヤマハ株式会社（本社：静岡県浜松市中区、代表取締役社長：中田卓也、以下、ヤマハ）は、国立研究開発法人情報通信研究機構（本部：東京都小金井市、理事長：坂内正夫、以下、NICT）の協力を得て、新たなインバウンドソリューションの実現のために、当社が提供する音のユニバーサルデザイン化支援システム「おもてなしガイド」と、NICT が提供する旅行会話用の多言語音声翻訳アプリ「VoiceTra」との実験的な連携を本日より開始します。



当社は、日本語のアナウンスの内容を多言語の文字や音声で利用者のスマートフォンにほぼリアルタイムに提供できるシステム「おもてなしガイド」を2014年に開発。現在、多くの企業や施設、自治体、メーカーなどと協力してその普及に取り組む「Sound UD プロジェクト」を展開しています。

このプロジェクトの中で、全国の空港、鉄道、バス、商業施設、商店街、テーマパークなどの協力を得て、2016年3月に訪日外国人387名を対象に実施したアンケート調査では、日本語がわからず困ったことのある外国人は約81.6%に上りました。特に、「困ったシチュエーション」の上位3件は、「（観光地やテーマパークの）ショーやアトラクション」「会話」「アナウンス」という結果となりました。（詳細は下図を参照。）

今回のアプリ連携は、こうした状況を解決するべく実験的に実施するもので、「おもてなしガイド」アプリから「VoiceTra」へのアクセスをシームレスに行えるようにするためのものです。アナウンスなどの対人による会話を要しないものは「おもてなしガイド」アプリにて翻訳内容の確認を行い、対人による会話でコミュニケーションを行う場合は「VoiceTra」を利用するといった使い分けをワンタッチ操作で簡単に行えるようになります。

また、今回の連携に併せて、指差し会話機能などをはじめとした訪日外国人にとって便利な機能の追加も行います。

これまでも当社とNICTは2015年7月より、NICTの音声認識技術を活用したアナウンスシステムについて共同研究<sup>[注1]</sup>を進めてきましたが、今回の連携によってさらに充実したインバウンドソリューションを提供出来るものと考えています。

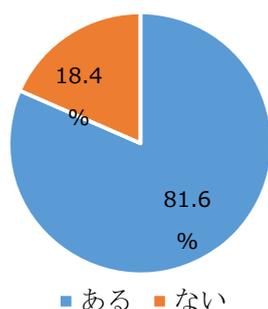
[注1] <https://www.nict.go.jp/press/2015/07/13-1.html> [https://archive.yamaha.com/ja/news\\_release/2015/15071301.html](https://archive.yamaha.com/ja/news_release/2015/15071301.html)

なお、今回の連携を始めとしたこれまでの取り組み事例を、10月27日（木）から30日（日）までの4日間、日本科学未来館で開催される「デジタルコンテンツ EXPO 2016」のヤマハブースにおいて紹介します。詳細は以下をご覧ください。<https://www.dcexpo.jp/14724>

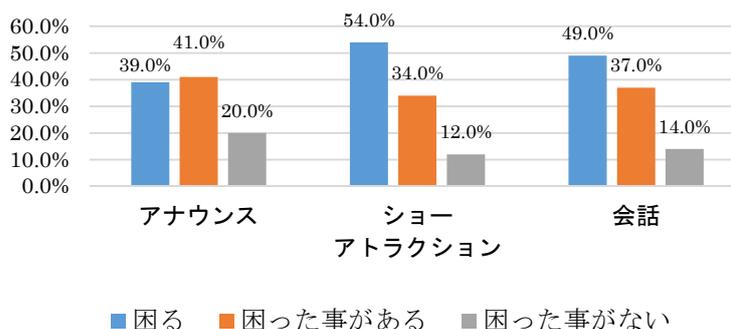
当社は今後も、「おもてなしガイド」とさまざまなサービス・アプリケーションとの連携を図ることで、より利便性の高いシステムを構築し、全ての人に優しい「音のユニバーサルデザイン化構想」の実現に取り組んでいきたいと考えています。

## <アンケート調査結果（抜粋版）>

Q. 訪日中、日本語がわからず困ったことはありますか？



Q. どういったシチュエーションで困りましたか？



(n=387)

調査方法：全国の空港、鉄道、バス、商業施設、商店街、テーマパークなどの実証実験実施場所付近に調査員を派遣し、訪日外国人を対象としてアプリケーションを体験して頂いたのち、アンケートを取得。

## <おもてなしガイドアプリ概要>



【アプリイメージ】

内容：日本語で流れているアナウンスの内容を、多言語化された文字で確認することができるアプリケーション

利用料金：無料

対応環境：iOS 8.0 以降対応、Android 4.4 以降対応

- ※ App Store、Google Play から無償でダウンロード可能
- ※ アプリケーションのダウンロードなどにおける通信料はお客様のご負担となります。
- ※ アプリケーションをご使用の際は、周囲のご迷惑にならないようにご使用ください。

## <おもてなしガイドとは？>

おもてなしガイドは、当社が開発した、多数の取得済・出願中特許を採用した「音のユニバーサルデザイン化(UD化)」を支援するシステムです。導入施設では、「日本語がわからない」、「音が聞こえづらい」、「音が聞こえない」方に対して、日本語のアナウンスを流すだけで、多言語化された音声や文字などの情報をユーザーのスマートフォンなどに提供することが可能となります。インターネットや電波ではなく音を使って情報提供を行うため、インターネット環境がなくても利用できることも特徴です。

「おもてなしガイド」ウェブサイト：<http://omotenashiguide.jp>

## <VoiceTra とは？>

・NICT の研究成果である音声認識・翻訳・音声合成技術を活用して開発、提供している社会実証用無料アプリケーションです。

・英語のほか、中国、韓国などの言語を含む31言語<sup>[注2]</sup>間の翻訳に対応しています。

・iOSにもAndroidにも対応。個人利用目的に限り無料でご利用いただけます。ただし、通信料は、ご利用者の負担となります。ご利用条件や使い方などの詳細は以下のウェブサイトをご参照ください。

「VoiceTra」ウェブサイト：<http://voicetra.nict.go.jp/>

[注2] 「VoiceTra」の翻訳対応言語：日本語、英語、中国語、韓国語、タイ語、フランス語、インドネシア語、ベトナム語、スペイン語、ミャンマー語、アラビア語、イタリア語、ウルドゥ語、オランダ語、クメール語、シンハラ語、台湾華語、デンマーク語、ドイツ語、トルコ語、ネパール語、ハンガリー語、ヒンディ語、フィリピン語、ポーランド語、ポルトガル語、ブラジルポルトガル語、マレー語、モンゴル語、ラーオ語、ロシア語

※「おもてなしガイド」「おもてなしアプリ」「音のユニバーサルデザイン」「OMOTENASHI GUIDE」「Sound UD」は、ヤマハ株式会社の登録商標です。

※「VoiceTra」はNICTの登録商標です。

※そのほかの文中の商品名、組織名などは当社や各社、各機関の商標または登録商標です。

※このニュースリリースに掲載されている製品情報や問い合わせ先などは、発表日現在の情報です。

発表日以降に変更される場合もありますので、あらかじめご了承ください。

### 本リリースに関するお問い合わせ先

<ヤマハ株式会社>

#### ■ 報道関係の方のお問い合わせ先

広報部 広報グループ 新川（あらかわ）

TEL：03-5488-6601

FAX：03-5488-5060

#### ■ 企業の方、一般の方のお問い合わせ先

新規事業開発部 Sound UDグループ 瀬戸、石田

TEL：03-5488-5070

FAX：03-5488-6485